



2026年4月7日(火) 第1号

園長 中谷 浩一

4月1日より2号・3号認定, 本日より1号認定スタート

すでに2, 3号認定の保育を開始しています。0, 1, 2歳児も保育教諭の愛着のもとで新しい環境に少しずつ慣れてきています。保護者の皆さま, 本園をご利用いただきありがとうございます。今年度もよろしくお祈いします。7日は, それぞれ進級した園児の始業式と新3歳児の入園式が行われました。新3歳児(年少組)の園児にとっては親元を離れ, 初めての集団生活が始まります。年度初めは慣れない生活への対応に重点を置いて保育を行っていきます。すでにコドモンで4月1日に配信していますが, 新担任を含め学級編成は次のようになりました。1年間どうぞよろしくお祈いします。お子さんの気になる点, 配慮事項は, 早い段階でご相談ください。

学級名・園児数とお世話する保育教諭

園長	中谷 浩一			
副園長	土田 沙織			
以上児主任	齋藤 詩織			
未満児主任	渡部 奈央子			
学年	学級名	園児数	担任名	副担任名
0歳児	ゆめ	1	森 空	佐藤 祐子
1歳児	つぼみ	8	松田 優希奈	谷本 由紀 高橋 ゆか
2歳児	にじ	15	木村 萌花	櫻井 美希 新堀 香織
3歳児	うみ	18	前田 百花	柳谷 幸子
4歳児	だいち	20	斎藤 優	近藤 空
5歳児	たいよう	24	阿部 由佳梨	片平 美穂 安達 穂乃香
フリー	糸谷 麻希 小原 奈美			
2号保育	ぱんだ	職員ローテで配置		
臨時代替保育教諭	永田 富士子 田村 直子 旭 由美 見延 恵里 佐々木 千佳 折笠 久美子 丹治 加奈絵 松岡 怜奈			
補助教諭	金野 真紀			

園でのお子さんの生活について気になるご家庭は, ぜひとも各学級担任に相談ください。コドモン連絡帳の活用, 登・降園時の情報共有をはじめ個人懇談, お子さんのようすを参観いただくことも可能です。

本園のHPアドレスは<https://kodomoen-memanbetsu.com/> です。

HPの園長ブログは不定期ですが, 「園児のようす」をお伝えしています。

登園したお子さんが体調不良でお迎えに来る際は, 正面玄関ではなく, 職員玄関の方からお入りください。

大空町認定こども園めまんべつ

本園では豊かな自然の中で、地域資源(ひと・もの・こと)を活用し、小学校以降の学びにつながる体験活動の充実に取り組んでいる。昨年度は「環境を通して行う教育」を通して子どもの主体性、自発的活動の育成に期待を寄せてきた。今年度は一人一人の育ちと学年としての育ちを保障していくために「好き」を育み、「得意」を伸ばすという喫緊の課題を視点とした取組が必要と考え、昨年度から研究を進めている。

<全道大会主題> 子どもの未来への懸け橋となる幼児教育の実現
～今こそ、遊びの重要性の力強い発信～

<管内大会主題> 遊びを通じた育ち合いと保育教諭の連携

<本園主題> 主体的・対話的で深い学び

本園の
子ども
たちの
実態

- ・幼児同士でイメージを出し合い、遊びを進めることができる。
- ・自分のやりたいことに挑戦し、試行錯誤しながら楽しむことができる。
- ・見通しをもって考えたり、自己を調整する力が育ちにくい。
- ・一人一人の思いや関心が、友だちと協働する楽しさにつながりにくい。

今年度の重点教育目標

園児の姿から遊びを見つめ、遊びを通じた育ち合いを考える
～互いに心を通わせ、思いを伝え合うこどもの育成～

1年次

幼児が興味や関心をもったものに自ら関わろうとする環境を考えよう!

幼児の働きかけを素直に認め、ほめることで幼児が自ら主体的に遊びに取り組む力が育まれるのではないか

2年次

一人一人の幼児の育ちを学年の枠を超えて支えよう

幼児の生活の仕方を新たな視点で考え、教師間がこれまでよりもっと連携を意識することで、学年を越えた幼児の育ちを促していけるのではないか

3年次

個の学びと協働の学びをつなげていこう!

個としても集団としても、じっくり考えたり、試したりできる環境を工夫することで、学びを深めていくことができるのではないか

研究の進め方

- 年次ごとの研究テーマに沿った事例研究
- 園内研修会(年2回)
- 他園参観
- 講師をお招きして異例研究(演習)

女満別地区の「架け橋期のプログラム」を載せています。

就学前の園児が入学してからスムーズに学習や生活ができるように小学校と本園で作成しました。どうぞご覧ください。



認定こども園めまんべつ・女満別小学校 「つながる」「ひろがる」架け橋プログラム

教育目標 大空と大地に根づく「おおぞらっこ」
R8重点教育目標 園児の姿から遊びを見つめ、遊びを通して育ち合いを考える
 ～互いに心を通わせ、思いを伝え合うこどもの育成～

教育目標 あおげ大空
 やさしい子(心づくり) ともに学ぶ子(学びづくり) げんきな子(体づくり)
R8重点教育目標 自ら学び、ともに高め合う子どもの育成

保育・教育の方法・内容

「やってみよう」を大切に

- 幼児一人一人の自発的な活動を保障していく。
- 幼児は自ら環境に関わり、疑問に思ったことを解決しようと試みていく(個別最適な学び)。
- 自分の思いや考えを言葉にして伝え、相手の思いや考えを聞いたりする(対話的活動)。
- 他者と関わることで人との関係が深まっていく(協働的な学び)。

学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐ

「できるようになる」「わかるようになる」

- 主体的・対話的で深い学びの実現 ～ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ～
- 学ぶことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間の区別が付き、自分の課題の解決に向けて、計画的に学んでいく。
- 各教科等の学習内容について授業を通して学んでいく。
- 主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者と関わり合う。



4月～9月

10月～3月

遊びを通して総合的な活動 ～ 5つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)との関連から

きらきら じぶんで かんがえる子
 季節に触れる散歩 こぼあそび 制作
 ふりかえり かずあそび わらべうた
 遊戯・楽器

ぼかぼか おもひやりのある
 やさしい子
 お誕生会 異年齢交流
 保育交流(小・中・高)

もうすぐ
 1年生
 午睡なし
 学校訪問
 係活動
 通学路散歩

すくすく あかるく げんきな子
 リズム運動 なわとび ボール遊び
 かけっこ みずあそび ゆきあそび

もぐもぐ おいしく たべる子
 お祭り給食 JA青年部との交流
 クッキング タ涼み会

- 4～9月 園外散歩
- 5月 こどもの日集会
- 9月 秋の遠足
- 10月 クッキング
- 5月 春の遠足
- 7月：七夕集会 プール活動
- 12月 クリスマス集会
- 2月 豆まき集

環境を通して行う教育 小学校以降の発達を見通しながら、幼児を取り巻く人やものといった環境を構成し、遊びを通して総合的な指導を通して幼児教育において育みたい資質・能力を一体的に養う

「10の姿」 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

交流活動

- 学校見学 (5月)
- 運動会練習の見学(6月)
- 学芸会練習の見学(10月)
- 就学時健診 (10月)
- 小学校探検 (12月)
- 一日入学 (1月)
- 公園あそび 園庭あそび 園外散歩 JA青年部との食育交流(通年)

繰り返し関わりながら「つながる」「ひろがる」

4月～9月

10月～3月

生活科を中心とした活動 ～ 各教科等(国語・算数・生活・音楽・図工・体育・道徳・えいご・学活)との関連から

わくわくどきどきしょうがっこう
 ・学校たんけん
 ・自己紹介、友達づくり
 ・えんぴつの持ち方

きせつとなかよし
 ・虫さがし、落葉拾い、木の実さがし
 ・水あそび、雪あそび
 ・こども園交流(園訪問、小学校案内)

もうすぐ2年生
 新1年生向け
 学校行事の紹介

きれいにさいてねわたしのはな
 ・植物栽培(あさがお・野菜)

かぞくにこにこ大さくせん
 ・おてつだい

7月：体育
 水泳

8月：音楽
 鍵盤ハーモニカ

9月：国語 漢字、かたかな
 9月：算数 たしざん ひきざん

1月：体育
 スキー

生活科 具体的な活動や体験を通して、子どもたちが身近な人々、社会、自然との関わりに関心を持ち、生活に必要な習慣や技能を身につけ、自立の基礎を養う

指導上の配慮事項

- 【保育者の関わり】
- 個々の興味や関心を大切に、一人一人の学びの芽を育てていく。
 - 失敗してもあきらめずに挑戦することを楽しませる。
 - 友だちと教え合うことや一緒に取り組むことに楽しさを感じられるようにする。
 - もっとこうしたいという思いが生まれるようにする。
 - 保育教諭の思いだけで先走らず、園児の思いを見通しから主体的に取り組むのを待つ。

- 【環境構成】
- それぞれの遊びの中で今、何を大切に何を育てたいのかを明確にし、全職員で共有する。
 - 上手くいかないからこそ試行錯誤の場を大切にしておく。
 - 一人で遊びこめる場を保障する。
 - ここぞという学びの機会を逃さない。

学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐ

- 【教師の関わり】
- 1年生を過小評価せず、「有能な学び手である」と信じ、こども園での育ちを踏まえて関わる。
 - 「やってみよう」「できるようになりたい」と思える題材との出会い、思いや願いを大切に学習展開を工夫する。
 - こども園での経験から、やってみよう、聞いてみようなどを引き出す。
 - 学校生活の流れやきまり、学習の流れやルールを確認しつつ、園での経験が生かせるように一緒に考え、進める。
 - 発言やつぶやき、絵などを活用して、思考の流れやめあての達成に向けた考えを支援できる板書をする。
- 【環境構成】
- 教職員に学習のねらいや活動内容を周知し、1年生が親しみ・興味・関心をもてる関わりを依頼する。
 - 園での生活や経験をもとに、自由に使える道具やつろげるスペース、各教科に関連する教材等を準備する。
 - 自分でできた気持ちがあるように学校探検や当番活動などの場面で視覚支援を取り入れる。
 - 年度末に自らの成長に気付くことができるように、学習の足跡を残しておく。

教職員交流情報共有

「子どもの発達を知る」「保育活動、教育活動を知る」ために
 子どもの姿・指導の在り方を語り合う教職員交流

【教職員交流】
 【情報共有】


- 参観日
- 行事参観(入園式、入学式、運動会、学芸会、発表会、卒業式、卒園式)
- 園内研修・校内研修への参加
- 引継ぎ
- 学校だよ
- 卒園児に対する情報交流
- 園内委員会(特別支援教育)





4月の主な行事予定



日	曜	行事予定	お知らせ・お願い
1	水	学年始休業（～6日）	
2	木	校長園長会議 15:00	
3	金	運営会議	
7	火	始業式・入園式 10:15 園児服用用です	入園式は新3歳児（年少組）が対象です。18名が入園予定です。 登・降園ともにスクールバスはありません。
14	火	管内園長主任会議 10:00	園長と以上児主任が不在になります。
15	水	歯科健診・給食会議	子どもたちの嗜好やメニューの内容について意見交換します。
16	水	避難訓練	子ども園では毎月1回の避難訓練があります。
17	金	尿検査1次	
20	月	職員会議 13:30	
21	火	内科健診	
22	水	お弁当の日 個人懇談（年少） 	子どもたちが楽しみにしている月に1回のお弁当です。 個人懇談は希望者のみです。
23	木	研修日	先生方のお勉強に日です。
29	水	昭和の日	お休みです。
30	木	お誕生会	以上児のお子さんは保護者と一緒に遊戯室でお祝いします。 未満児さんはお部屋で先生方とお祝いします。

認定子ども園めまんべつをご利用の保護者の皆さん、1年間ありがとうございました。

3月24日に年少児と年中児を交えて修了式を行いました。この1年間で年少さんは、子ども園での生活にも慣れて元気に過ごしていました。うんどうかいやはっぴょうかいでは保護者の皆さんに観てもらうことを励みに頑張っていました。年中さんは、いろいろと挑戦する場面がたくさんありましたが、みんなで力を合わせたり、自分で考えたりしながら一生懸命取り組んでいました。4月からは1つずつ学年が上がります。遊びを通した学びを活かしてさらなる高みを目指してくれることを期待しています。

年少組



年中組



巻末に今年度の職員アンケートを載せました。ご覧ください。